You'll Never Walk Alone

大島社協ボランティアセンター からのお知らせ

かわら版　No.034
（平成 27 年 8 月 31 日）

みなさん、こんにちは、大島社協ボランティアセンターです。
ボランティアセンターでは、現在、かわら版配布や仮設集会所でのお茶会などボランティアの方々と共に活動を行っています。お困り事や相談事などお気軽にご相談下さい。

● お問い合わせ・ご相談は
生活支援相談員（草野・本宮）　2-3773　開所時間 / 8:30～17:15 土日・祝祭日は休み

9 月を迎えます

ようやく朝晩涼しさを感じるようになって来ました。9 月に入り台風の季節を迎えます。海水温の上昇などにより大型の台風が発生する確立が高くなってきていると言われています。いざという場面であわてないためにも、ご家庭で防災の備えや大島町の避難体制の基準など今一度ご確認下さい。

「復興住宅」工事の進捗情報

台風 26 号により被災された方々のための復興住宅。
建設工事が進む岡田地区、(元町) 家の上地区の現在 (8 月 25 日) の様子をお伝えします。

岡田地区

建築工事も随分と進み、2 階部分と屋根の工事が行われていました。

(元町) 家の上地区

固い岩盤も掘削され、これから建物の基礎工事が始まります。

格別に暑い夏となった今年の大島。工事関係者のみなさんは炎天下の中日焼けで真っ黒になりながらも着々と作業を進めて下さっていました。
岡田地区の完成日は平成 28 年 1 月 20 日 (2 月 1 日から入居可能予定)、家の上地区の完成日は平成 28 年 3 月 24 日 (4 月 1 日から入居可能予定) となっています。

埼玉県日高市の高校生達がボランティアに来てくれました

８月18日19日､の２日間日高市の高校生12名がボランティア活動に来てくれました。

主催は日高市社会福祉協議会。大島の人達からお話を伺い防災について学び考える、大島海洋国際高校の生徒さんと共にボランティア活動やホームステイを行い交流を深める目的で開催されました。

初日はホテル椿園新町亭にて女将の清水さんが語り部となりお話しを聞きました。日高市の高校生達からは「災害のあと困った事は何ですか？」「今の大島の大雨の時などの避難の仕方はどうなっていますか？」など質問も多く、清水さんはひとつひとつ丁寧に答えて下さいました。

午後からは海国生17名と一緒に元町２丁目、３丁目、仮設住宅を中心に今年開校10周年を迎える海国の文化祭のお知らせを届ける訪問活動を行いました。２日目も海国生と合同で間伏砂の浜にて海岸清掃活動を行ってくれました。

日差しの強い中をみんなで汗を流し、２時間の活動で70㍑のゴミ袋、可燃ごみ12袋、ペットボトル11袋、空き缶２袋、瓶２袋を集め漂着ごみが多かった砂の浜は見違えるようにきれいになりました。

２日間の活動を終えた日高市の高校生達からは「今回、たった２日間でしたが大島に沢山の友達ができました」「訪問先のおばあちゃんが大島の昔のお話をたくさんしてくれうれしかった」「台風26号の時の様子など実際に経験された方の話を聞かせて貰えた事は本当に貴重な時間でした」「また大島に必ず来ます。その時は彼女と一緒に！今はいません」
海洋国際生からは「最初は緊張したけどびっくりするくらい日高のみんなと仲良くなった」「次は自分達が日高市に行ってみたい」など感想を伝えてくれました。

NPO 000 PAF GLOBAL UNIVER - CITY からのお知らせ

WE LOVE OSHIMA シリーズと題し講演会やコンサートの開催を続ける「NPO 000 PAF GLOBAL UNIVER-CITY」さんからのお知らせです。

福祉の島へ　大島で学ぼう　～誰もが主役の福祉を目指して～

日 時：2015年10月10日（土）　13:20 ～ 15:30　（開場 13:00）
場 所：大島町開発総合センター　大集会室　（入場無料）
内 容：基調トーク　河野　修三 氏（共忉の家　ぴのきお所長）
ゲストトーク　サンドラ・アイテンソン・スウィートマン 氏（NPO 000 PAF 理事）
パネルディスカッション

社会福祉法人　大島社会福祉協議会　　100-0101 東京都大島町元町２－１－４　TEL　04992-2-3773
公式サイト＝http://oshima.vc/　公式Facebook ＝https://www.facebook.com/oshima.saigaivc